資料１

中学校昼食等検討委員会の検討スキーム

第１段階

【現行事業の検証】

・実態調査
　利用生徒の状況（定例利用、一時利用など）
　家庭弁当の持参状況
　家庭弁当以外の昼食内容とその理由
　現行事業に対する生徒、保護者及び教職員の評価

・改善の可能性
　メニュー関係
　利用手続き、支払い方法
　配送方法、生徒への配布方法、保温・保冷方法
　利用料関係（補助など）
　周知方法
　学校における指導
　業者選定

【現行方式も含めた様々な方式による検討（今後のあり方）】

・前回の検討委員会での内容の確認、共通認識
・給食制度の意義
　教育（食育）の観点、健康の観点、経済的支援の観点、家庭環境の変容から見た観点
・学校の役割、家庭の役割、中学生としての自身の役割
・生徒の実態やニーズの把握と検証
・保護者の実態やニーズの把握と検証（家族構成、保護者の就労状況なども含む）
・学校における諸課題の把握と解決方法（時間の確保、指導面、食育、給食費の徴収、異物混入、食物アレルギー対応など）
・実施方式別の意義と課題（生徒の観点、保護者の観点、施設設備の整備上の観点、学校運営上の観点、給食事業運営・コストの観点、全員喫食 or 選択制の観点）

【中間まとめ】

・現行事業の検証結果
・今後の方向性、あり方（中学校昼食の意義・役割、全員喫食か選択制か、検討を深めるべき方式など）

第２段階

【具体的実施方式に向けた検討】

・実施方式別の課題の解決策の検討
・望ましい方式の検討と配慮すべき事項の検討

【最終報告（提言：答申）】

・実施すべき方式や、その場合の課題解決の方向に関する提言